



高い機動力と対応力で建設業界の頼れる存在に

本社所在地

東京建設



代表取締役社長

中島 幸雄

なかじま ゆきお

PROFILE

1958年4月生まれ。学生のころから家業である同社の事業を手伝って仕事を覚え、大学卒業後の1980年に同社に入社。営業と機材センターでの業務を経験したのち、副社長を経て2020年12月から現職。趣味はゴルフ、スポーツ観戦。

資材リースから工事まで建設を幅広くサポート

弊社は、建設工事に必要な資材のリースおよび貨物輸送、とび、土木工事まで一貫して請け負う会社です。扱う資材・機材は、敷き鉄板、山留材、足場材、ネット、レッカー車、各種クレーン、工事用エレベーターなど多岐にわたります。大手ゼネコン様をはじめ、500社以上との取り引きがあり、ビルやマンション、大型施設や競技場など、様々な建設工事に携わっています。

建設業界は分業化・専業化が当たり前で、たとえば運送業なら運送だけを行い、足場のリース業なら足場だけを所有している、というのが一般的です。弊社のようにリース、運搬、工事まで請け負い、幅広い機材を取り扱うリース業者は珍しく、さらに機材のほとんどを自社で保有し、オペレーターも自社の人間でまかなっています。言うなれば、建設業界の10業種ほどが集まってひとつになったような会社が「ナカジマトーケン」です。

困っている人を最優先緊急時も敏速に対応

弊社の強みのひとつが機動力。「注文を受け付け、資材センターにトラックを手配し、荷物を積み込んで出発」、ここまですべて自社のリソースで実現できるため、非常にスピーディーな対応ができます。前日の午前中までお客様からご依頼があれば、翌日には現場に資材を手配できますし、トラックの空きさえあれば、当日受付・当日運搬にも対応し

ています。できる限りお客様のご要望にスピード感を持って応えられるのが弊社の強みであり、他社との大きな差別化になっています。

対応エリアは基本的に関東近郊ですが、災害や事故などの緊急時はその限りではありません。東日本大震災の発生時は、東北地方にも車を走らせていました。当時、お客様から緊急の要請があり、発電機、仮設トイレ、スコップやホースなどをトラックに積んで、震災発生から3日後には被災地に機材を運び込むことができました。「緊急で依頼をしてくる人は、本当に困っている人。困っている人を助けるのは当たり前だ」。これは先代社長からの教えであり、急を要する依頼には、最優先で対応する体制になっています。敏速かつ柔軟な対応の積み重ねが「いざとなったらナカジマに頼めばいい」と頼られる会社に成長させていただたと考えています。

自ら考え提案できる若手との出会いに期待

組織全体としては、半数以上をドライバーやクレーンのオペレーターが



下は20代から上は70代まで、幅広い世代の従業員が活躍中。

所 在 地 〒136-0074 東京都江東区東砂6-11-7
T E L 03-3646-0151
設 立 1962(昭和37)年12月
従 業 員 数 180名
売 上 高 60億円[2024(令和6)年9月期]
事 業 内 容 建設資材リース、貨物輸送、とび・土木工事
U R L <https://nakajima-token.co.jp>

企業公式サイト

